

環境モニタリングツールとしての サンゴ移植技術の応用提案

石西礁湖サンゴ礁生態系再生ツールとしての
サンゴ移植技術の有効性の評価:

実績: 過去9年間で移植面積は約0.4ヘクタール(～年間約0.04ヘクタール)



10⁴のオーダーの圧倒的なスケールギャップ

石西礁湖面積: 約30,000ヘクタールで、サンゴ群集域が仮にその10%しか
ないとしても約3,000ヘクタール

サンゴ移植の評価のポイント:

「サンゴ移植の成功」≠「サンゴ礁生態系再生の成功」

～本来の目標は、移植サンゴが100%生残り産卵するかどうかではなく、
石西礁湖サンゴ礁生態系の再生に有意に寄与すること

サンゴ移植技術の有効利用方法のアイデア の1つとしての提案:



サンゴの生育環境を把握するための生物的 センサーとして移植サンゴを使う

- 環境条件が悪いところも含めて石西礁湖内外の様々な地点にサンゴ移植する
- 生物は**環境の総合的指標**なので、移植したサンゴがその地点の環境をトータルに示してくれるはず